



為政探究

令和7年7月27日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

正しい為政や正しい児童の育成から始まり、正しい社会正しい国家の形成を与える。これら他人がこれをなすためである。

これらは過去における児童が国家の道具として自己が与えられた誤りから、自己の健全な育成と学習における未来の創造を要求されるのである。

産業と軍、宇宙開発と社会開発は、次世代システムと技術が有する先端性と高い生産性への移行を提案し、これらが自国産業の新たな育成を実現できるのである。

またこれら安全保障は自立と独立を国是とし、内需における需要へのすべての産炭産業の育成を独自資本において要求される。

またすべての社会システムの見直しは、学術性における社会の考査を経て、ネクストソサエティーへの転換を全県において行うものである。

平和という共有の理想において、すべての人種や国籍との融和は差別を排除した世界の融和を求め新たな国際社会への参加を実現する。

財政の健全化は国民との対話を経てその合意とともに税制改革と新たな関税の制定を求め、健全財政への回帰を求める。

また新たな次世代エネルギーへの転換は、エネルギーの輸入からの転換を求め、これら支出の削減を全盛の健全化に対して充てることができる。

これら新たな国家基盤は世界との新たな関係を模索するものであり、独立外交と世界との新たな融和の提案を実現するものである。

新たな未来の創造と次世代社会への転換は政治のプレゼンスとともに、新たな外交政策とともに国家の確立を提案するものである。